

第3章 高齢者福祉計画

○目標1 活力ある高齢社会の実現

施策I 高齢者の積極的な社会参加

(1) 老人クラブ活動への支援

老人クラブは、今後の地域社会の中で重要な役割を担う組織であり、高齢者の生きがいつくりや健康づくり、奉仕活動等の社会活動を推進していくうえで、積極的な役割が期待されます。その役割を果たすために老人クラブの自主性を最大限に尊重しつつ、老人クラブ連合会、単位老人クラブと連携を図りながら、老人クラブ活動を支援します。

老人クラブ加入者の推移

| 年度 | クラブ数 | 加入者数 | 60歳以上人口 | 加入率 |
|-----|------|--------|---------|-------|
| H18 | 91 | 4,668人 | 23,409人 | 19.9% |
| H19 | 91 | 4,517人 | 23,891人 | 18.9% |

- ◆能代地域・二ツ井地域の単位老人クラブ補助金の補助率の統一を進めます。
- ◆老人クラブ連合会には、地域の高齢者活動の中心的な役割も期待し、その活動を支援します。

(2) 敬老会(式)の開催

敬老会(式)を開催し、高齢者同士がお互いの長寿と健康をお祝いするとともに、高齢者が集い、交流する機会を設けます。

| 年度 | 参加人数 | | |
|-----|------|------|--------|
| | 能代地域 | | 二ツ井地域 |
| | 全体 | 3地区 | 11地区 |
| H18 | 396人 | 425人 | 1,327人 |
| H19 | 241人 | 388人 | 1,160人 |

- ◆能代地域・二ツ井地域の対象年齢や実施方法の統一について検討を進めます。

(3) 青空デイサービス事業の実施

一人暮らし高齢者等に比較的軽易な農作業を体験させ、閉じこもりを防止し、交流の場を提供する青空デイサービス事業を実施します（地域支援事業）。

- ◆当面は、既存の農地等を利用しながら、実施団体や指導者、参加者の輪を広げ、市民の自主的な活動を促進します。また、農作物の加工、販売等の可能性についても検討します。

(4) 生涯学習の充実

「生涯学習の場」や「地域づくり」の拠点として、高齢者施設の利用を促進します。また、公民館、体育館等における寿大学、シルバースポーツの日交流会などの様々な事業の推進を支援するほか、サークル、老人クラブ等の勉強会等へ講師を派遣するなど、高齢者の学習意欲の向上に努めます。（一部地域支援事業として実施）

主な生涯学習関連事業（H19）

| 事業名 | 開催数 | 参加人数 |
|------------------------|----------|--------|
| 寿大学（能代地域） | 各公民館毎10回 | 1,434人 |
| 松寿大学（二ツ井地域） | 5回 | 676人 |
| シルバースポーツの日交流会 | 月2回 | 1,643人 |
| 趣味講座 | 48回 | 1,292人 |
| ゲートボール大会 | 2回 | 125人 |
| 健康づくりスポーツ大会 | 1回 | 1,000人 |
| 高齢者芸能発表の集い | 1回 | 800人 |
| 老人クラブ優良会員表彰・ 芸能発表大会 | 1回 | 860人 |
| 高齢者寿作品展 | 1回 | 187人 |

(5) 高齢者就業の支援

シルバー人材センターは高齢者が地域社会の活動と密接な連携を保ちながら、豊かな経験と能力を生かし、相互協力のもと、働くことを通じて「社会参加」「生きがいの増進」に寄与することを目的として設立され、会員の自主性・主体性を最大限に発揮させながら、各種事業を推進し、高年齢者の就業機会の提供を行っています。

また、「団塊の世代」がシルバー人材対象年齢となってきたことから、就業先の拡充確保が求められます。

また、公共職業安定所等の関係機関と連絡をとりながら高齢者の就労支援に努めます。

シルバー人材センターの運営費、各種事業費の助成

| 年度 | 助成額 |
|-----|----------|
| H18 | 10,860千円 |
| H19 | 10,243千円 |

シルバー人材センター登録会員数

| 年度 | 登録人数 | 男 | 女 |
|-----|------|------|-----|
| H18 | 391人 | 309人 | 82人 |
| H19 | 396人 | 308人 | 88人 |

○目標 1 活力ある高齢社会の実現
施策 II 自立生活の支援（介護保険法定以外）

(1) 高齢者福祉サービスの見直し

高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を実現していくため、高齢者が要介護の状態になることを予防する施策や在宅生活を継続するうえで何らかの支援が必要な要援護高齢者に対する施策を展開します。

高齢化の進展や厳しい財政状況が見込まれる中、すべてのサービス水準を維持することは困難であり、市民ニーズの把握や事業効果の検証をしながら、より効果的な事業については重点的に取り組むことが出来るよう、持続可能なサービスへの転換を図ります。

また、高齢者が在宅で自立した生活を継続できるよう、地域包括支援センター、民生・児童委員、社会福祉協議会、老人クラブ、自治会、ボランティア等による支援体制の整備を図ります。

ア 在宅生活を続けるための支援

①住宅改修費の助成

移動に不安のある要介護認定を受けた高齢者が、自己の住居を日常生活に配慮した仕様に改造する場合に費用の一部を助成します。

| 年度 | 件数 | 助成額 |
|-----|----|------------|
| H18 | 6件 | 1,351,000円 |
| H19 | 3件 | 677,000円 |

◆補助率、助成限度額の見直しを進めるとともに、個々の高齢者の状況に即した必要な改修か検証します。

②生活支援ハウス

一人暮らし及び夫婦のみの世帯に対して、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援します。

| 年度 | 実人数 | 延べ人数 |
|-----|-----|------|
| H18 | 11人 | 48人 |
| H19 | 8人 | 45人 |

③軽度生活援助サービスの実施

自立した生活を支援するため、シルバー人材センター等を活用し、一人暮らし高齢者等に日常生活上の軽易な援助を行います。

| 年度 | 利用人数 | 利用券利用枚数 |
|-----|--------|---------|
| H18 | 1,320人 | 7,416枚 |
| H19 | 1,365人 | 8,466枚 |

- ◆対象者の条件、利用者負担額の見直しを検討します。
- ◆事業委託先の拡大やボランティアの活用、高齢者同士の相互助け合いなどの新たな仕組みも検討します。

④緊急通報装置・ふれあい安心電話システムの設置

一人暮らし高齢者等の急病等緊急時に、迅速かつ適切な対応が図れるよう電話回線を利用した緊急通報装置を貸与します。

また、ふれあいコールを行い、安否確認するとともに、生活不安解消のための相談に応じます。

| 年度 | 設置台数 | 非常通報 | 相談等 |
|-----|------|------|------|
| H18 | 515台 | 59件 | 348件 |
| H19 | 510台 | 76件 | 367件 |

- ◆能代地域と二ツ井地域の通報先やふれあいコールなどのサービスの違いの解消について検討します。

⑤訪問理容サービスの実施

在宅の寝たきり等で理髪店に行けない市民税非課税高齢者の衛生管理のため、理容師を派遣して理髪を行います。

| 年度 | 利用者数 | 利用券利用枚数 | 利用金額 |
|-----|------|---------|----------|
| H18 | 121人 | 270枚 | 891,000円 |
| H19 | 77人 | 236枚 | 778,800円 |

- ◆理容師への委託料の額や利用者の自己負担、対象者の条件等の見直しを検討します。

⑥高齢者の外出支援事業

一般の交通機関を利用することが困難な在宅の寝たきりなどの高齢者を、移送車両により送迎します。

| 年度 | 延べ利用人数（能代） | 延べ利用人数（二ツ井） |
|-----|------------|-------------|
| H18 | 169人 | 1,604人 |
| H19 | 72人 | 1,541人 |

- ◆能代地域は平成19年度で廃止しており、二ツ井地域の利用者や交通事情等も勘案しながら、事業の見直しを検討します。

⑦家族介護用品支給事業

おむつ使用者を介護する家族に、おむつ等の購入費の全部又は一部を助成します。（地域支援事業）

| 年度 | 利用者数 | 利用券利用枚数 |
|-----|------|---------|
| H18 | 688人 | 5,467枚 |
| H19 | 716人 | 5,459枚 |

- ◆利用対象者の条件、助成額の見直しを検討します。

⑧徘徊高齢者家族支援サービス事業

徘徊探知機能を有した機器を、家族が購入する場合に、その初期費用を助成します。（地域支援事業）
（初期費用：機器代、加入手数料。※使用料は、利用者負担。）

| 年度 | 利用者数 | 助成金額 |
|-----|------|---------|
| H18 | 2人 | 14,385円 |
| H19 | 0人 | 0円 |

- ◆利用者数が減っており、事業の周知に努めるとともに、事業のあり方について検討します。

イ 生きがづくり等の支援

①はり・きゅう・マッサージ施術助成事業

高齢者（65歳以上）の健康とさわやかな生活を確保するため、助成券を交付し、はり・きゅう・マッサージ施術費を助成します。

| 年度 | 人数 | 利用枚数 | 助成額 |
|-----|------|------|----------|
| H18 | 195人 | 846枚 | 676,800円 |
| H19 | 162人 | 738枚 | 590,400円 |

◆健康の保持や機能回復、閉じこもりの防止などの介護予防の効果や、利用者のニーズを検証しながら、事業のあり方について検討します。

②シルバーパス事業

高齢者がバスに1回100円で乗車できるパスを発行し、高齢者の外出を支援します。（二ツ井地域に限ります。）

平成19年度発行者数 1,063人（二ツ井地域の70歳以上の高齢者31.3%）

◆二ツ井地域の交通事情を勘案し、市全域の交通運輸対策と一体的に事業のあり方を検討します。

③百歳長寿祝事業

市内に10年以上居住し、満100歳を迎えた人の誕生日に訪問し、お祝い状と記念品を贈呈します。

| 年度 | 人数 | 備考 |
|-----|----|-----------------------------------|
| H18 | 0人 | 二ツ井地域は、数え100歳以上の者6人に賞詞とお祝い金10万円贈呈 |
| H19 | 9人 | 約5万円相当の記念品贈呈 |

④地域福祉活動補助事業

ボランティア団体などが実施する「在宅福祉の普及・向上に資する事業」「健康・生きがづくりの推進に資する事業」「ボランティア活動の活発化に資する事業」に対し、福祉基金を財源として補助金を交付します。

◆対象事業・補助率の見直しについて検討します。

⑤青空デイサービス事業の実施（再掲）

一人暮らし高齢者等に比較的軽易な農作業を体験させ、閉じこもりを防止し、交流の場を提供する青空デイサービス事業を実施します（地域支援事業）。

◆当面は、既存の農地等を利用しながら、実施団体や指導者、参加者の輪を広げ、市民の自主的な活動を促進します。また、農作物の加工、販売等の可能性についても検討します。

（２） 福祉施設整備の推進及び見直し

①養護老人ホーム

指定管理者が管理運営している「養護老人ホーム松籟荘」と一部事務組合の「養護老人ホームやまもと」（三種町）の２施設があります。また、秋田市の養護老人ホーム（盲）「松峰園」にも能代市の方が入所しています。

○入所の状況

家庭、居住環境や経済的理由により、在宅生活が困難な方が入所していますが、入所が長期化するにつれて身体機能が低下する方もあり、こうした入所者にも対応できる施設機能が求められています。

措置人員

| 年度 | 松籟荘 | | やまもと（三種町） | 松峰園（秋田市） |
|-----|-----|----|------------|----------|
| | 能代市 | 市外 | 能代市（二ツ井地域） | 能代市 |
| H18 | 58 | 12 | 6 | 2 |
| H19 | 59 | 11 | 4 | 2 |

◆入所判定委員会の専門的・客観的な意見を参考に、入所の可否及び入所順位を決定します。

◆生活管理指導短期宿泊事業（ショートステイ）の受け入れ先としても活用します。

○サービスの質の向上

利用者にとっては、施設が生活の本拠となるため、利用者の生活習慣やニーズを適切に把握する必要があります。

- ◆指定管理者制度を導入した松籟荘の管理運営について指導・監督し、サービスの向上及び経費の節減に努めます。
- ◆入所者が要介護状態になっても安心して生活できるよう、特定施設の指定を受け、入所者の状態に応じた介護サービスの利用についても進めます。

②軽費老人ホーム（ケアハウス）

○施設の整備状況

二ツ井地域に1施設があり、特別養護老人ホームに併設されています。

○施設の入居状況

| 年度 | 入居率（定員15名） |
|-----|------------|
| H18 | 95.3% |
| H19 | 99.2% |

- ◆今後、需要に応じた社会福祉法人等における施設整備の取組を促進します。

③老人憩の家（白濤亭）

高齢者の憩いと研修の場として設置され、入浴もできる施設です。

| 年度 | 利用人数 | 1日平均 |
|-----|---------|-------|
| H18 | 10,639人 | 35.1人 |
| H19 | 11,501人 | 37.8人 |

- ◆指定管理者制度の導入により、サービスの向上及び経費の節減に努めていますが、施設の老朽化が進み、維持費がかかることから、今後の施設のあり方も含め、検討を進めます。

④保坂福祉会館松寿園

故保坂民治氏の寄附の趣旨に基づき、高齢者福祉の向上を図るため設置され、高齢者に憩いと研修の場を提供。老人クラブ活動の拠点施設となっています。

| 年度 | 利用人数 | 1日平均 |
|-----|---------|-------|
| H18 | 13,865人 | 45.0人 |
| H19 | 14,040人 | 45.7人 |

- ◆指定管理者制度の導入により、サービスの向上及び経費の節減に努めています。

⑤高齢者保養センター（松風荘）

高齢者の低廉で健全な保養の場として設置され、入浴、宿泊もできる施設です。

| 年度 | 利用人数 | 日帰り | 宿泊 |
|-----|--------|--------|------|
| H18 | 4,785人 | 4,424人 | 361人 |
| H19 | 5,095人 | 4,627人 | 468人 |

- ◆利用者数の増加に向けた取組や、敷地を利用した青空デイサービス事業の実施について検討を進めます。
- ◆施設の老朽化が進み、維持費がかかることや、宿泊は地域住民以外の利用が多いことなどから施設のあり方も含め、検討を進めます。

⑥能代ふれあいプラザ（サンピノ）及び高齢者友愛センター

能代ふれあいプラザは、在宅福祉の拠点として（老人デイサービスセンター、地域包括支援センター等）、また、中心市街地への定住化の促進（市営住宅）や、世代間交流の促進（保育所・高齢者友愛センター）を目指して建設された複合施設です。

高齢者友愛センターは、高齢者の生きがいと健康づくり活動や高齢者の交流促進等のほか、地域包括支援センターの介護予防事業にも活用されています。

高齢者友愛センターの利用状況

| 年度 | 利用人数 |
|-----|--------|
| H18 | 5,350人 |
| H19 | 7,891人 |

⑦二ツ井町総合福祉センター（ふっちゃん）

生活支援ハウスを併設し、相談事業や福祉情報の提供等を総合的に行うほか、入浴もできる施設です。

| 年度 | 利用人数 |
|-----|---------|
| H18 | 11,985人 |
| H19 | 11,444人 |

- ◆指定管理者制度の導入により、サービスの向上及び経費の節減に努めていますが、生活支援ハウスとともに今後の施設のあり方も含め、検討を進めます。

⑧生活支援ハウス（再掲）

一人暮らし及び夫婦のみの世帯に対して、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援します。二ツ井町総合福祉センターに併設されています。

| 年度 | 実人数 | 延べ人数 |
|-----|-----|------|
| H18 | 11人 | 48人 |
| H19 | 8人 | 45人 |

- ◆指定管理者制度の導入により、サービスの向上及び経費の節減に努めていますが、二ツ井町総合福祉センターとともに今後の施設のあり方も含め、検討を進めます。